令和４年度　勝央町立勝間田小学校学校だより　２月号　　令和５年１月３０日　発行

勝間田っ子

http://gakuji.town.shoo.lg.jp/katsumada-es/letters-katsumada-es/

ご協力、ありがとうございました!

～学校評価「保護者アンケート」～

２学期末に実施しました学校評価「保護者アンケート」では、お忙しい中ご協力をいただき、大変ありがとうございました。今年度からスマホやタブレット・パソコンでの web 入力のみとした影響があったためか、全体の回収率は 79%と、昨年度に比べ大きく減少しました。できるだけ多くの保護者の皆様にご協力をいただけるよう、来年度以降も呼びかけ等を積極的に行っていければと考えています。評価をいただきました 18 項目の集計ができましたので、その結果を以下の通りお知らせします。

※肯定的回答率 ＝ よくあてはまる ＋ だいたいあてはまる

	保護者アンケート項目　回収率 79%	肯定的回答率
①	子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。	７９%
②	子どもは、授業が分かりやすいと言っている。	７７%
③	子どもは、話したり遊んだりする友だちがいると言っている。	９３%
④	子どもは、進んでよくあいさつをする。	６０%
⑤	先生は、読み・書き・計算などの基礎学力の定着のため、きめ細かい指導をしている。	８４%
⑥	先生は、子どもの困ったことや悩みなどを理解し、誠実に対応するようにしている。	８５%
⑦	先生は、子どもの良さや努力したことなどをしっかり認めようとしている。	９３%
⑧	先生は、仲間外れやいじめなどを許さないで、一人一人を大切にする学級づくりを心がけている。	９１%
⑨	先生は、必要に応じて家庭との連絡を行っている。	８９%
⑩	学校は、落ち着いた学校・学習環境づくりになるよう努力している。	８８%
⑪	学校は、子どもの安全や事故防止に配慮している。	９２%
⑫	学校は、人権を尊重する意識を育てている。	８９%
⑬	学校は、教育方針や教育活動の様子を学校だよりや学年だより等で分かりやすく伝えている。	９４%
⑭	学校は、保護者に対して誠意を持って対応したり、相談に応じたりしている。	９１%
⑮	学校は、保護者や地域の人が授業や学校行事を参観する機会を設けている。	９４%
⑯	我が家では、挨拶の大切さを伝えている。	９５%
⑰	我が子との会話の時間を取るよう心がけている。	９５%
⑱	学校からの配布物を子どもから確認をして受け取っている。	７９%

ご覧いただいたとおり、18 項目中約半分の項目において目標とする９０%を超える高い評価をいただき、学校としてもとてもありがたく思っています。ただ、①②④⑱については、８０%を下回る結果となり、大きな課題であると感じています。特に④の「進んでよくあいさつをする（６０%）」につきましては、年々少しずつポイントは上がってきてはいるものの、まだまだ十分ではないということを改めて認識しました。今後、保護者の皆様や地域の皆様、行政等とも連携を図りながら、これまで以上に積極的な取組を模索していきたいと考えていますので、ご協力をよろしくお願いします。

上記評価以外にも、基礎学力のことや学校行事のこと、担任のこと等、文章でも多くのご意見をいただきました。これらについても、今後の参考とさせていただき、さらなる教育活動の充実に努めてまいりたいと考えています。

「心のスイッチ」を入れよう!

スイッチ オン！

１月のある月曜日、全校児童朝礼で、東井義雄先生の「心のスイッチ」という詩を子どもたちに紹介しました。全校児童への紹介は、約２年ぶりとなります。

下記の詩を朗読した後、次のような話を続けました。

『この詩を聞いて、皆さんは、どんなことを感じたでしょうか？校長先生は３学期に入ってからも、みなさんの勉強の様子や生活の様子を見るために、時々教室を回っています。その様子を見ながら、「あっ、この人は「心のスイッチ」をしっかり入れて、とても頑張っているな。」と感じる時があります。特に、２学期と比べて見違えるほどこの３学期に頑張っている人もいて、とてもうれしく思っています。ところが、残念なことに「この人は全く「心のスイッチ」が入ってないんじゃないか…」と感じられることもあります。そんな時は、とてもさみしい気持ちになります。みなさんがこれからどんどん賢くなっていくためには、一人一人が「よし、やるぞ！」と「心のスイッチ」を入れて、目や耳や頭をしっかり働かせながら勉強したり生活したりすることが大切です。今の学年が気持ちよく終われるように、「心のスイッチ」をしっかり入れて、残りの３学期をがんばっていきましょう。みなさんのこれからの頑張りに期待しています。』

「心のスイッチ」はすべての児童が持っています。そして、そのスイッチを入れるのは、やはり本人自身であることは間違いありません。しかしながら、周りの人の声掛けや後押しが大きなきっかけとなり、「心のスイッチ」が入る場合もあるのではないでしょうか。児童一人一人がはっきりとした目標を持ち、その目標に向かって小さな一歩をしっかりと踏み出していけるように、今後も学校・家庭・地域が連携・協力しながら、子どもたちの成長を支えていければと考えています。

これからもご協力をよろしくお願いいたします。

心のスイッチ

東井　義雄

人間の目は　ふしぎな目
見ようという　心がなかったら
見ていても　見えない

人間の耳は　ふしぎな耳
聞こうという　心がなかったら
聞いていても　聞こえない

頭もそうだ
はじめから　よい頭　わるい頭の
区別が　あるわけではないようだ
「よし、やるぞ！」と　心のスイッチが入ると
頭も　すばらしいはたらきを　しはじめる

心のスイッチが　人間を
つまらなくもし　すばらしくもしていく
電灯のスイッチが　家の中を
明るくもし　暗くもするように

避難訓練（地震）実施

１月１８日（水）、全校で避難訓練を行いました。今回は、授業中に震度５の地震が発生したという想定のもと、「緊急地震速報を聞いて、地震の際に自ら考え適切な避難行動をとること」をねらいとして実施しました。久々の全校同時避難ということで、スムーズにいくかとても心配していましたが、避難指示を出してから３分４７秒という速さで全員の避難が完了しました。避難後、「災害はいつ起きるかわからない」ということで、訓練の大切さについて話をしました。

「活動支援金」の寄附

今年度もマルイ様より**「マルイ小学校活動支援金」**として、４月と１１月の２回にわたり、合計

２６６,８０２円

のご寄附がありました。マルイ様、ありがとうございました。この支援金は、学校生活における子どもたちの様々な活動を支援する物品の購入等、有効に活用させていただきたいと考えています。